

Canon

BINOCULARS

10×32 IS

12×32 IS

14×32 IS



IMAGE STABILIZER

JPN

使用説明書

キャノン製品のお買い上げありがとうございます。

キャノン 10 × 32 IS (10 倍)、12 × 32 IS (12 倍)、14 × 32 IS (14 倍) は、レンズシフト方式による手ブレ補正機能を搭載したプリズム双眼鏡です。ご使用になる前に、この使用説明書をお読みになって理解を深め、操作に慣れた上で正しくお使いください。

また、この使用説明書はいつでも参照できるように適切に保管してください。

- IS は Image Stabilizer (手ブレ補正機能) の略称です。

本文中のマークについて



故障など不都合が生じる恐れのある注意事項が書かれています。



基本操作に加えて知っておいていただきたい事項が書かれています。

付属品

本製品には以下の付属品が付いています。

ケース	1
ストラップ	1
接眼レンズキャップ	1
ひも (接眼レンズキャップ取り付け用)	1
単 3 形アルカリ乾電池	2

安全上のご注意（ご使用の前に必ずお読みください）

- ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 安全に使っていただくための注意事項です。必ずお読みください。お使いになる方と他の人々への危害や損害の発生を防ぐためにお守りください。

⚠ 警告（双眼鏡について） 死亡や重傷を負う恐れがある内容です。



● 太陽を絶対に見ないでください。 失明の原因となります。

- 双眼鏡を直射日光のあたるところに放置しないでください。太陽の光が焦点を結び、火災の原因となることがあります。
- ポリ袋（包装用）などを小さなお子様の手が届くところに置かないでください。かぶると窒息することがあります。
- ストラップを誤って首に巻き付けると、窒息することがあります。

⚠ 注意（双眼鏡について） 傷害を負う可能性がある内容です。

- 双眼鏡を不安定な場所に置かないでください。倒れたり、落ちたりして、けがの原因になることがあります。
- 双眼鏡を歩きながら使用しないでください。衝突したり、転倒したりして、けがの原因になることがあります。
- 双眼鏡のストラップを持って振りまわさないでください。他人に当たりけがの原因になることがあります。
- 双眼鏡の眼幅合わせの際に、指をはさみけがをすることがあります。小さなお子様を使用する場合には、ご注意ください。
- ゴム製アイカップの長時間の使用や、繰り返しの使用により皮膚に炎症を起こすことがあります。もし、うたがわしい症状があらわれましたら医師にご相談ください。

注意（双眼鏡について） 物的損害が発生する可能性がある内容です。

- 双眼鏡は精密機械です。落したり、ショックを与えたり、自分で分解したりしないでください。
- 本製品を水中に浸さないでください。また、本製品に強い雨やしびきがかからないようにしてください。
- 直射日光下の車の中などに本製品を放置しないでください。予想以上に高温になり、故障の原因になることがあります。
- レンズおよびボディは、アルコール、シンナー、ベンジンなどの有機溶剤を使って拭かないでください。
レンズが汚れた場合は、最初にブローブラシでレンズ表面のゴミ、ホコリを取り除いた後で、レンズを傷付けないように、乾いた柔らかい布で軽く拭いて、汚れを取り除いてください。

⚠ 警告（電池について） 死亡や重傷を負う恐れがある内容です。

- 使用する電池について、次のことをお守りください。
発熱、発煙、発火、液漏れ、破裂などがおき、火災やけがの原因になることがあります。
 1. 公称電圧が 1.5V を超える電池や公称電圧が確認できない電池は使わないでください。
 2. 異なる銘柄の電池や古い電池を混ぜて使わないでください。
電池は 2 本同時に同一銘柄で新品の電池へ交換してください。
 3. 電池の＋と－の向きをまちがえないでください。
 4. 電池を分解、充電（充電不可の電池）、高温下での放置、加熱、接点間のショート、火の中への投入など、しないでください。
- 一部の「単 3 形リチウム電池」を使うと、まれに電池が非常に高温になることがあります。お客様の安全のため、「単 3 形リチウム電池」は使わないでください。

⚠ 注意（電池について） 傷害を負う可能性がある内容です。

- 電池の液漏れなどで内部の液体が体についたときは、水でよく洗い流してください。また、液体が付いた手で目や口などをこすらないでください。

注意（電池について） 物的損害が発生する可能性がある内容です。

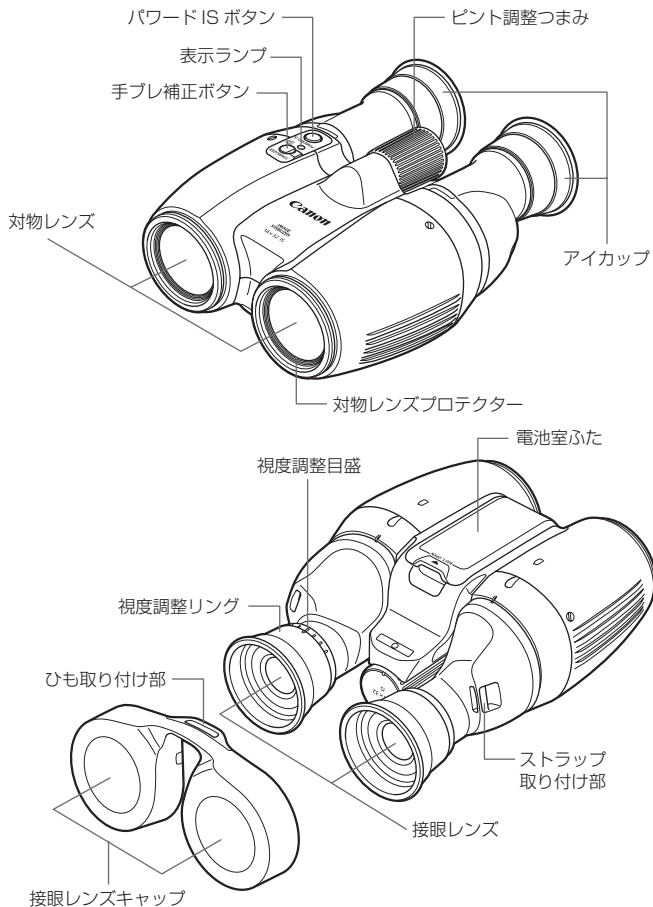
- 本製品を使わないときは、電池を取り外してください。液漏れにより、故障の原因になることがあります。

取り扱い上のご注意

- 湿気の多いところではレンズ面にカビや曇りが生じやすくなります。長期間使わないときは、レンズ表面やボディの汚れをよく拭き取り、風通しの良い、乾燥したところに保管してください。
- 本製品を寒いところから暖かいところに移すと、急激な温度の変化で双眼鏡の外部や内部に水滴が付着（結露）することがあります。そのようなときは、事前に双眼鏡をビニール袋に入れて、周囲の温度になじませてから取り出してください。また、暖かいところから寒いところに移すときも、同様にしてください。

各部の名称

* イラストは 14 × 32 IS のものです。



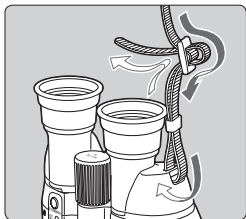
レンズキャップの使い方



接眼レンズキャップを取り付ける

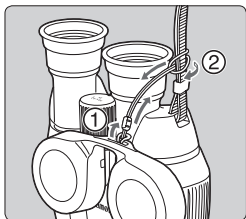
- アイカップに被せて取り付けます。

ストラップを取り付ける



1 ストラップを取り付ける

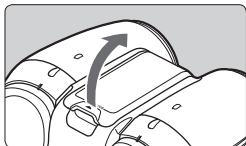
- 止め具の部分にたるみがないことと、ストラップを引っばっても止め具の部分でゆるまないことを確認します。



2 接眼レンズキャップをつなぐ

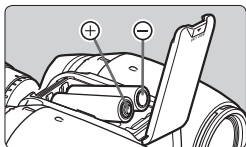
- 付属のひもを接眼レンズキャップに取り付け (①)、ストラップとつなぎます (②)。

電池を入れる



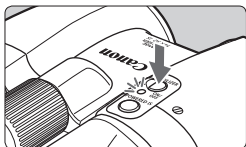
1 ふたを開ける

- 電池室ふたを開けます。



2 電池を入れる

- 2本の電池をイラストで示すようにバネ状電極の方から電池室の表示にしたがって「+」「-」をまちがえないように入れます。電池を入れたら電池室ふたをしっかりと閉めます。



3 表示ランプの点灯を確認する

- 手ブレ補正ボタンまたはパワードIS ボタンを押して表示ランプが点灯することを確認します。(1 秒以上押し続けてください)



- 電池の取り扱いに関しては、p.4にある「△警告（電池について）」および、「△注意（電池について）」をよくお読みください。
- 電池を反対方向から入れないでください。バネ状電極を変形させて故障の原因になることがあります。
- 電池室ふたの内側や電池室内に水分が付かないように注意してください。水分が付いたときは、必ず水分を取り除き、十分に乾燥させてから電池交換を行ってください。

使用電池と連続使用可能時間（当社試験条件による）

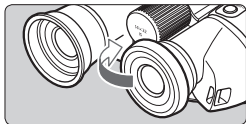
	23°C	- 10°C
単 3 形アルカリ乾電池 *	約 10 時間	約 2 時間

* アルカリ乾電池は、銘柄により使用可能時間が変わることがあります。



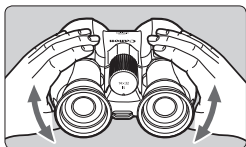
単 3 形のニッケル水素（Ni-MH）電池も使用できます。

使用前の準備をする



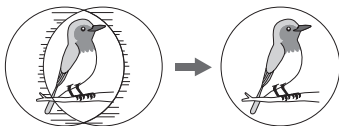
1 アイカップの準備をする

- 顔に直接アイカップが触れないようにしたい場合や、眼鏡をかけたまま双眼鏡を使用するときは、アイカップを折り返します。

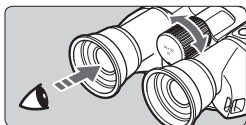


2 接眼部を眼の幅に合わせる

- 双眼鏡をのぞき、左右の視野が重なるまで接眼部の角度を調整します。

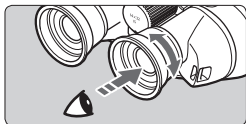


- 性能を十分に引き出し、目の疲労を少なくするためにおこないます。
- 接眼部を眼の幅に合わせるときは、できるだけ遠くのものを見ると合わせやすくなります。

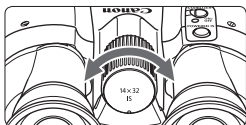


3 視度を調整する

- はじめに、左眼だけでのぞき、目標物がはっきり見えるまでピント調整つまみを回します。



- 次に、右眼だけでのぞき、左眼でピントを合わせた目標物がはっきり見えるまで視度調整リングを回します。



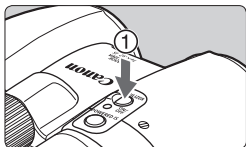
4 ピントの調整をする

- 双眼鏡をのぞき、目標物がはっきり見えるまで、ピント調整つまみを回します。

手ブレ補正機能を使用する

目標物を観察しているときに、手ブレにより像がゆれて見にくくなる場合には、手ブレ補正機能を使用すると像を安定させることができます。

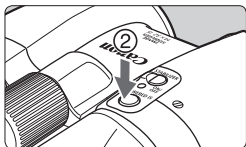
- 手ブレ補正機能には、幅広い観察対象に対応する**汎用の IS** と、1 点を狙い続ける観察に特に有効な**パワード IS** があります。
- 手ブレ補正機能を作動させる方法は、次のとおりです。



(1) 5分間の連続作動

● 手ブレ補正機能の作動と停止

- 手ブレ補正ボタンを押してすぐに放すと、汎用の IS が 5 分間連続作動します (①)。汎用の IS を途中で停止させるには、手ブレ補正ボタンを押して放します (①)。
- 同様に、パワード IS ボタンを押してすぐに放すと、パワード IS が 5 分間連続作動します (②)。パワード IS を途中で停止させるには、パワード IS ボタンを押して放します (②)。



● 手ブレ補正機能の切り換え

- 汎用の IS の作動中にパワード IS ボタンを押してすぐに放すと、パワード IS に切り換わります * (②)。また、汎用の IS の作動中にパワード IS ボタンを押し続けると、パワード IS に切り換わって作動を続け、ボタンを放すと停止します (②)。
- 同様に、パワード IS の作動中に手ブレ補正ボタンを押してすぐに放すと、汎用の IS に切り換わります * (①)。また、パワード IS の作動中に手ブレ補正ボタンを押し続けると、汎用の IS に切り換わって作動を続け、ボタンを放すと停止します (①)。

*: 手ブレ補正機能が切り換わったときから 5 分間連続作動します。

(2) ボタンを押し続けている間だけの作動

● 手ブレ補正機能の作動と停止

- 手ブレ補正ボタンを押し続けると、ボタンを押し続ける間だけ汎用の IS が作動します (①)。
同様に、パワード IS ボタンを押し続けると、ボタンを押し続ける間だけパワード IS が作動します (②)。
- ボタンを放すと停止します。

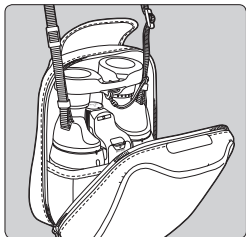
● 手ブレ補正機能の切り換え

- 手ブレ補正ボタンを押し続けて汎用の IS が作動しているときに、さらにパワード IS ボタンも押し続け、手ブレ補正ボタンだけを放すとパワード IS に切り換わって作動を続けます (①②)。
- パワード IS ボタンを押し続けてパワード IS が作動しているときに、さらに手ブレ補正ボタンも押し続け、パワード IS ボタンだけを放すと汎用の IS に切り換わって作動を続けます (②①)。
- 全てのボタンを放すと停止します。



- 体ごと大きくゆれる場所や振動のある場所、または手ブレが大きすぎると、手ブレが十分に補正されないことがあります。
- ストラップで吊り下げた状態など、下向きの状態が 10 秒以上続いたときは、電池の消耗を防ぐために手ブレ補正機能が停止します。下向きで観察するときは、手ブレ補正ボタンまたはパワード IS ボタンを押し続けてください。
- 電池が入っていない状態でも、通常の双眼鏡として使用できます。

ケースの使い方



- ストラップをケースの外に出して本体を入れます。



- ストラップがケース上部に出る状態までジッパーを閉め、フラップ部を閉じます。

故障かな？と思ったら

「双眼鏡が故障したのかな？」と思ったら、次の表を参考にしてチェックをしてください。なお、チェックをしても状態が改善しないときには、p.14に記載のお客様相談センターにご相談ください。

状 態	原 因	解決方法
像が明瞭に見えない。	レンズが汚れていませんか？	ブローブラシでレンズ表面のゴミ、ホコリを取り、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
	視度調整してありますか？	視度調整してください。 (p.8・手順 3 参照)
	接眼部を眼の幅に合わせていますか？	接眼部を眼の幅に合わせてください。 (p.8・手順 2 参照)
	ピント調整していますか？	ピント調整してください。 (p.8・手順 4 参照)
手ブレ補正機能が作動しない。	電池は入っていますか？	電池を入れて、電池容量が十分か確認してください。 (p.7・「電池を入れる」を参照)
	手ブレ補正ボタンを押すと表示ランプは点灯しますか？	点灯しないときは電池が消耗しています。電池を新品に交換してください。 (p.7・「電池を入れる」を参照)
手ブレ補正機能作動時に双眼鏡を大きく振ると異音がする。	電池が消耗しています。	電池を新品に交換してください。 (p.7・「電池を入れる」を参照)

主な性能一覧

	10 × 32 IS	12 × 32 IS	14 × 32 IS
型式	プリズム双眼鏡		
倍率	10 倍	12 倍	14 倍
入射ひとみ径	32mm		
実視界	6°	5°	4.3°
見かけ視界 (ISO14132-1:2002 に基づく表記)	55.3°		55.5°
1,000m での視界	105m	87m	75m
射出ひとみ径	3.2mm	2.7mm	2.3mm
射出ひとみ距離	14.5mm		
焦点調整範囲	約 2m ~ ∞ (無限遠)		
手ブレ補正方式	レンズシフトによる光学補正方式		
手ブレ補正角度	± 1°		
バッテリーチェック	表示ランプ (LED) 点灯		
電源	単 3 形アルカリ乾電池 2 本 (単 3 形ニッケル水素 (Ni-MH) 電池も使用可能)		
作動保証環境	温度: -10°C ~ +45°C 湿度: 90%		
大きさ (幅×高さ×長さ)	142 × 77 × 171mm		
質量 (本体のみ、電池を除く)	約 780g		約 775g

修理対応について

1. 保証期間経過後の修理は、原則として有料となります。なお、運賃諸掛りは、お客様にてご負担願います。
2. 本製品の修理対応期間は、製品の製造打ち切り後 7 年間です。
なお、弊社の判断により修理対応として同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の場合、ご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことがあります。

キヤノン双眼鏡ホームページ：***canon.jp/binoculars***

キヤノンお客様相談センター：**050-555-90001**（直通）

受付時間〈平日 / 土 / 日 / 祝〉9:00 ～ 18:00

（1/1 ～ 3 は休ませていただきます）

※ 海外からご利用の方、または 050 からはじまる IP 電話番号をご利用いただけない方は 03-3455-9353 をご利用ください。

※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

Canon